

科目	単位	時間	履修学年	講師
基礎看護技術Ⅳ(清潔)	1	30	1 学年	長田祥子
ねらい	皮膚と粘膜の保護および清潔保持に関する生理的メカニズムを理解し、対象者が健康な生活を営むために必要な清潔の援助方法を習得する。人間にとっての衣類、衣生活の意義を理解し、安全で質の高い看護技術を習得する			
回数	授業内容			授業方法
1 回目	清潔援助の基礎知識 清潔援助の意義：身体的、精神的、文化的な側面から捉える。人間の皮膚・粘膜のメカニズム。個別性に応じた様々な清潔援助が身体に及ぼす影響を学ぶ。 ＊課題:休暇中に体験学習【テーマ】1 日清潔行動を制限された時に感じた身体的・精神的・文化的影響、その後の清潔行動における気づきをレポート提出＊清潔行動の制限は倫理的配慮から強制ではない＊全身清拭の演習時の患者役の服装についてアンケート			講義 看図使用
2 回目	衣生活の援助の基礎知識・意義・目的：身体的側面も含め、自身の生活から衣生活の精神的・社会的（文化的）側面を捉える。次回の演習に向けて浴衣の特徴や寝衣交換の方法や留意点について学ぶ ＊寝衣交換の演習の説明			講義 動画
3 回目	衣生活の援助の実際【寝衣交換/浴衣】 学生同士で浴衣の着方、たたみ方、留意点を実践し、看護師、患者役となり寝衣交換の援助を行う			演習
4 回目	全身清拭の援助の実際 身体を清潔にする方法とその根拠について考える。 全身清拭の意義・目的・方法・留意点 ＊特にプライバシーの確保、羞恥心への配慮、声かけ等 ＊次回演習の説明			講義 グループワーク
5～6 回	全身清拭と衣生活の援助の実際【全身清拭・寝衣交換】 学生同士で全身清拭と寝衣交換の一連を通した援助を実践し、方法や留意点を学ぶ			演習
7 回目	陰部洗浄の援助 陰部洗浄の意義・目的・方法と留意点を学ぶ ＊次回演習の説明			講義 グループワーク
8～9 回	陰部洗浄の援助の実際【陰部洗浄】 学生同士で陰部モデルを装着し陰部洗浄の援助を実践する。			演習
10 回目	洗髪・手浴・足浴・入浴の援助 洗髪・手浴・足浴の意義・目的・方法と留意点 ＊次回からの演習の説明			講義 動画
11～12 回	洗髪の援助の実際【洗髪】 学生同士でケリーパッドを使用した洗髪援助を実践する			演習
13 回	足浴の援助の実際 学生同士で足浴の援助を実践し方法、留意点を学ぶ			演習
14 回	整容・口腔ケアの援助の実際【整容・口腔ケア】 ケアの意義・目的・方法と留意点 口腔の観察とアセスメント			講義 動画
14.5 回	課題レポート提出内容をもとに清潔援助の統括			講義
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅲ（医学書院）			
参考文献				
評価方法	筆記試験、出席状況、課題レポート			
備考	知識に基づいて演習を行うことで深める授業です。確かな知識と技術と態度が求められます。 特に技術では練習を重ねる以外に上達することは難しいです。研修時間等を有効に利用し、研鑽を積んで下さい。			